



令和4年12月16日
大洲河川国道事務所
肱川ダム統合管理事務所
山鳥坂ダム工事事務所

肱川の渇水状況について

肱川流域では、10月以降まとまった降雨がなく、12月5日午前5時40分に鹿野川ダムの貯水量が枯渇したため、ダムへの流入量と同じ量を放流しています。

このため肱川本川の流量が減少している状況であることから、肱川流域の関係機関で構成される肱川渇水情報連絡会では、影響調査や河川巡視体制の強化、今後の渇水状況等の連絡体制を確立しています。

12月5日より肱川本川の流量減少に伴う自然環境等への影響調査を行っています。
(主な結果の詳細は別紙のとおりです)

- ・アユの産卵床を調査しましたが、卵が無く孵化後と考えられます。
- ・大洲市の肱南地区（土堀川）へ導水しているポンプが水位低下で取水できない状況になっており、現在、復旧に向け検討中です。なお、生息していたコイは移動済です。
- ・水質及び肱川流域の水源井戸の水位についてはまとも次第お知らせします。

今後も自然環境等への影響の有無を確認するため、定期的に環境調査等を実施し、その結果をお知らせします。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局

大洲河川国道事務所（渇水状況） Tel：0893-24-5185(代)

副所長 壬生 恵庫（ミブ ケイゴ）（内 742-204）

事業対策官 中塚 光（ナカツカ コウ）（内 742-208）

●河川管理課長 吉村 匡（ヨシムラ マサシ）（内 742-331）

肱川ダム統合管理事務所（ダム状況） Tel：0894-72-1211(代)

副所長 松坂 幸二（マツサカ コウジ）（内 744-204）

●管理課長 石丸 満久（イシマル ミツヒサ）（内 744-331）

山鳥坂ダム工事事務所 Tel：0893-34-3000 (代)

副所長 柴田 治信（シバタ ハルノブ）（内 743-204）

●工務課長 山崎 元司（ヤマサキ モトシ）（内 743-311）

●：主な問い合わせ先

○流況

渇水前の１１月１０日及び環境影響調査を行った日の内１２月１３日の肱川の流況は以下のとおりです。

令和 ４年１１月１０日 ９時現在

令和 ４年１２月１３日 ９時現在

鹿野川ダム

貯水位	73.14 m
流入量	2.78 m ³ /s
放流量	6.07 m ³ /s
貯水率	26.40%

鹿野川ダム

貯水位	66.70 m
流入量	2.84 m ³ /s
放流量	2.84 m ³ /s
貯水率	0.70%

野村ダム

貯水位	164.83 m
流入量	0.94 m ³ /s
放流量	1.35 m ³ /s
貯水率	69.20%

野村ダム

貯水位	164.11 m
流入量	0.99 m ³ /s
放流量	1.31 m ³ /s
貯水率	61.20%

河川流量

坊屋敷	2.74 m ³ /s
内子	1.02 m ³ /s
大洲	8.37 m ³ /s
新谷	0.11 m ³ /s
五郎	8.24 m ³ /s

河川流量

坊屋敷	2.08 m ³ /s
内子	1.26 m ³ /s
大洲	4.35 m ³ /s
新谷	0.19 m ³ /s
五郎	6.53 m ³ /s



渇水時におけるアユ産卵場調査

調査日：令和 4年 12月 13日 (火)		天候：雨後曇	
調査地点	肱川本流 五郎大橋下流		
産卵場位置 (下図：国土地理院航空写真)			
調査開始時刻	11:54	水温 (°C)	14.0
アユの確認状況	確認なし	産卵の有無	有 ・ 無
最浅部の水深(m)	0.08	最深部の水深(m)	0.19
補足	水中部の白濁は確認されず、河床に堆積物なし。前回調査からの水深低下は確認されず、今後調査予定がないことから水位計撤去。		



産卵痕確認地点



河床の状況



水位計設置状況（撤去前）

肱南地区（土堀川）導水状況

大洲市肱南地区（土堀川）へは大洲城内濠浄化として肱川に設置した取水ポンプで導水していますが、水位低下に伴い12月6日からポンプが停止しております。水位低下に伴うポンプ停止は運用開始以来今回初めてです。

なお、通常時の写真に写っているコイについては既に大洲市により内濠菖蒲園に移動済みです。現在、復旧に向け、検討を行っています。

※大洲城内濠浄化について

大洲市肱南地区は古くから大洲市の行政・経済の中心として栄え、人口が多く、準用河川の土堀川（土堀樋門地点）では、流れがよどみ白濁したり、季節によっては悪臭が発生することもありました。この地区には大洲城や臥龍山荘、おはなはん通りなどの観光拠点があるが、市内水路は水質が劣悪で水量が不安定な状況でした。また、かつての大洲城の内濠跡である準用河川内堀川の菖蒲園では、水源を雨水のみに頼っているため水質の悪化が見られました。

このため、肱川本川の清冽な水を揚水ポンプで汲み上げ、水質悪化の著しい市内水路および内濠菖蒲園へ導水・希釈することにより土堀川及び内堀川の水質改善を図り、下水道整備の進捗及び接続率の向上による汚濁負荷の削減効果と併せて環境基準C 類型に相当するBOD5mg/L 以下（コイなどが棲める水質）にするとともに、水郷大洲にふさわしいおいしい魅力のある町並みづくりに寄与しています。

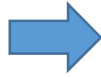


取水ポンプ設置箇所（R4.12.7撮影）

① まちの駅「あさもや」の周辺



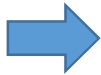
「あさもや」前（通常時）



「あさもや前」（R4.12.8撮影）



「あさもや」前（通常時）

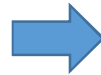


「あさもや」前（R4.12.8撮影）

② 大洲南中学校周辺



大洲南中学校前の水路（通常時）



大洲南中学校前の水路（R4.12.8撮影）